



第576号
2022年1月4日

発行:自治労連千葉県本部
千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内
TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060
MURL http://www.jichirorenchiba.jp/
責任者・竹内 敏昭 編集長・貫川 理

県立関宿城博物館の展望室から利根川と江戸川の分岐点を望む



歴史は未来への指標

野田市職労 笹川さん (学芸員)



「学芸員は技術屋」と語る笹川さん

人生の分岐点で未来を思い描く時、指標となるのが歴史です。野田市で学芸員として活躍する笹川さんは、学びの宝庫「歴史」の魅力を伝えています。

野田は 関東平野の中心

野田市は、千葉県の北西の端、利根川と江戸川の分岐点にありま

す。北部の関宿は、関東平野の中心に位置する戦略上重要な土地で、江戸時代には家康の異父弟の松平康元(やすもと)が城主となり、その後も幕府の中枢・老中を担うような譜代大名が代々城主となりました。大都市江戸の物流を支えたのは、利根川の水運です。大豆・麦・塩があつまる野田では醤油醸造が盛んとなり、企業城下町として発展しました。

歴史を残す 重い責任

笹川さんは、もともと大の歴史好きですが、仕事を「趣味」と評されることには異を唱えます。

文化財係の仕事

歴史的資源が豊富なこの野田市で学芸員を務めるのが、笹川さんです。専門は近代。古文書が読めます。現在、市の文化財係として文化財の現状の確認や、補修等が必要な場合は方法や補助金等についての相談・支援を行っています。また、出前授業や講演も行い、地域の魅力を発信していく

ために広報なども協力して仕事をしています。歴史を残す重い責任

戦争を終結に導いた 鈴木貫太郎

野田は、太平洋戦争を終結させた首相鈴木貫太郎ゆかりの地で、貫太郎の父が関宿藩士で、幼少を野田で過ごし、海軍大将や侍従長、総理大臣をつと



鈴木 貫太郎 (国立国会図書館ウェブサイトより)



県立関宿城博物館

～おでかけ案内～
千葉発見伝

東京湾に流れていた利根川 関宿城博物館は、野田市の江戸川側の堤防上にある県立の歴史博物館です。かつて東京湾に流れていた利根川を銚子へ流すという、江戸時代の利根川東遷の大事業や、河岸の発展の様子などが展示されています。関宿藩では幕末に、佐幕派と勤皇派が鋭く対立しました。彰義隊に加わり上野で新政府軍と闘う藩士が続出した。幼い藩主を双方で奪い合う事態となりました。関宿藩の展示フロアでは、そうした激動の時代の一端に触れることができます。展望室からは、利根川と江戸川の分岐点を望むことができます。周囲は散策できますので関東平野を渡る風を感じてみてください。 ※開館日程は予めご確認ください。

歴史は「使うもの」

時の枢密院議長としての役割などにも、ぜひ注目してほしい」と話します。 「なぜこの人はこうしたのか。どのような状況にあったのか。どう考えていたのか。深く理解するなかで人々の行動を考えていくことが大事。それは、未来を考える時、指標にもなるはず。目を輝かせて歴史を学ぶ楽しさを語ってください。(県本部)